

新入生作品展「ARCHITECT 展」のご案内

建築を夢みて大学に入学して2ヶ月、新入生による学生作品展を開催いたします。

滋賀県立大学環境建築デザイン学科1回生(第18期生)51人による展覧会「第6回 ARCHITECT 展」のご案内です。学外の方々もご覧いただけます。

みなさまのご来場をお待ちしております。



なお、掲載写真は、過年度開催時の展示風景です。

【会場】 滋賀県立大学 交流センター（滋賀県彦根市八坂町 2500）

【会期】 2012年6月13日（水）～6月26日（火）（なお土日は閉館）

【開館時間】 午前8：30～午後5：00

【第一展示：個人制作】 塔

建築学科に入って最初の制作は立体造形です。与えられた条件は、

- ・高さ1m以上、接地範囲は半径15cm以内。
 - ・1kg以上の重しを載せてもつぶれない。
 - ・材料は、「30cm角のケント紙20枚」と「のり」のみ。
 - ・ケント紙は、切り離さない。折りや切りこみのみ。
- 用・強・美をかねそなえた51作品、壮観です。

【第二展示：個人制作】 51人の建築家展

建築学科一回生おのおのに与えられたコードネームは・・・世界の建築家の名前だった。

一回生51人がすべて別々の建築家を担当し、その建築のイメージを、2次元で表現した作品群。大学図書館を早速フルに活用し、本と雑誌を探し出す。ドローイングあり、建築図面あり、ディテールあり・・・材料に工夫を凝らしたポスターが目白押し。

【第三展示：共同制作】 フラードームのある空間

実物のフラードームが出現します。

バックミンスターフラーのドームは、すべて三角形からできています。

単純図形が連続する美しさと、力学的な明快さ。

部材は「ベニヤ」と「スタイロフォーム」、接合は「結束バンド」のみ。

直径8m、高さ3mのフラードームの中に入って、その空間を体験してください。

●出展作品は、滋賀県立大学環境建築デザイン学科1回生前期の演習科目「イメージ表現法」（担当教員：松岡拓公雄・高田豊文・轟慎一・永井拓生、TA：米田海視・宮良香央利・山崎拓）にて、今年4～5月に制作した作品です。

■お問い合わせ先

滋賀県立大学 環境建築デザイン学科 轟 慎一（とどろき しんいち）

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500 電話 0749-28-8283 E-mail todoroki@ses.usp.ac.jp